

日本医師会
令和3年度(第55回)臨床検査精度管理調査

【 積水メディカル 試薬・測定法分類コード表 】

臨床検査室等 送付日 : 令和 3年 9月 7日 (火) (到着予定)
締切日 : 令和 3年 9月 16日 (木)

特記事項

1. 日常検査において、メーカー指定の製造業者製品校正物質によりキャリブレーションを実施している場合このキャリブレーションを検体として測定した場合、企業の標準品にてトレーサビリティを確認したことになりますので、[企業の標準品]コード番号(7)を選択してください。
2. 臨床化学自動分析装置 EV800 (測定装置コード表 より)

測定装置名	企業名	コード
積水メディカル EV800	日立ハイテクノロジーズ 積水メディカル	BBC520

お問い合わせ先 : カスタマーサポートセンター コールセンター

TEL 0120-249-977

積水メディカル株式会社
カスタマーサポートセンター

[項目別記入例]

1. 総蛋白

(1) 【アナセラム ALB・TP標準液】、【セロノルム・ヒューマン】、【セロノルム・マルチキャリブレータ】、
【血清マルチキャリブレーター(SEKISUI)】を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレータの種類	単位 桁数
クリメイト TP	11 ビュレット法	15 積水メディカル	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	g/dL 0.0
オートセラ TP				
クオリゼント TP				

(2) 【総蛋白・アルブミン標準血清】、【セロノルム・ヒューマン】、【セロノルム・マルチキャリブレータ】、
【血清マルチキャリブレーター(SEKISUI)】を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレータの種類	単位 桁数
ピュアオートS TP	11 ビュレット法	04 カインス	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	g/dL 0.0
クオリゼント TP-N				

2. アルブミン

(1) 【アナセラム ALB・TP標準液】、【セロノルム・ヒューマン】、【セロノルム・マルチキャリブレータ】、
【血清マルチキャリブレーター(SEKISUI)】を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレータの種類	単位 桁数
クリメイト ALB	11 BCG法	15 積水メディカル	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	g/dL 0.0
オートセラ ALB				

(2) 【セロノルム・ヒューマン】、【セロノルム・マルチキャリブレータ】、【血清マルチキャリブレーター(SEKISUI)】を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレータの種類	単位 桁数
ピュアオートS ALB-N	22 BCP改良法	15 積水メディカル	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	g/dL 0.0
クオリゼント ALB-N				

3. 総ビリルビン

【ユニメディ「T-BIL-LQ」,「D-BIL-LQ」用ビリルビン標準液】を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレータの種類	単位 桁数
ユニメディ「T-BIL-LQ」	31 酵素法	39 ニプロ	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	mg/dL 0.0

4. 直接ビリルビン

【ユニメディ「T-BIL-LQ」,「D-BIL-LQ」用ビリルビン標準液】を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレータの種類	単位 桁数
ユニメディ「D-BIL-LQ」	32 酵素法 δビリルビンを測り込まない方法	39 ニプロ	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	mg/dL 0.0

5. ブドウ糖

(1) 【アナセラムGLU標準液】を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレータの種類	単位 桁数
ピコアトS GLU-R	21 ヘキソキナーゼ・UV法	15 積水メディカル	1 製造販売元指定のもの (溶媒ベース)	mg/dL 整数
ピコアトS GLU				
クオリゼント GLU				
オートセラS GLU				

(2) 【血清マルチキャリブレーター(SEKISUI)】を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレータの種類	単位 桁数
ピコアトS GLU-R	21 ヘキソキナーゼ・UV法	15 積水メディカル	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	mg/dL 整数
ピコアトS GLU				
クオリゼント GLU				
オートセラS GLU				

6. 総カルシウム

(1) 【アナセラム CA標準液】を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレータの種類	単位 桁数
クニメイト CA	31 クレゾールフタレインコンプレクソン法 (o-CPC)	15 積水メディカル	1 製造販売元指定のもの (溶媒ベース)	mg/dL 0.0
オートセラ CA				
PTS用オートセラ CA				
クオリゼント CA				

(2) 【セロノルム・ヒューマン】、【セロノルム・マルチキャリブレーター】、【血清マルチキャリブレーター(SEKISUI)】を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレータの種類	単位 桁数
クニメイト CA	31 クレゾールフタレインコンプレクソン法 (o-CPC)	15 積水メディカル	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	mg/dL 0.0
オートセラ CA				
クオリゼント CA				
アキラスオート Ca II	61 酵素法	11 シノテスト		

7. 無機リン

(1) 【アナセラム IP標準液】を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレータの種類	単位 桁数
クニメイト IP-2	12 モリブデン酸(モリブデン青法) 除蛋白しない方法	15 積水メディカル	1 製造販売元指定のもの (溶媒ベース)	mg/dL 0.0
クオリゼント IP				

(2) 【セロノルム・マルチキャリブレーター】、【血清マルチキャリブレーター(SEKISUI)】を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレータの種類	単位 桁数
クニメイト IP-2	12 モリブデン酸(モリブデン青法) 除蛋白しない方法	15 積水メディカル	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	mg/dL 0.0
クオリゼント IP				
ピコアトS IP	31 酵素法			
クオリゼント IP-N				

8. マグネシウム

(1) 【アナセラム MG標準液】を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレーションの種類	単位 桁数
クニメイト MG	31 キシリジルブルー法	15 積水メディカル	1 製造販売元指定のもの (溶媒ベース)	mg/dL 0.0
クオリザイント MG				

(2) 【セロノルム・マルチキャリブレーション】、【血清マルチキャリブレーション(SEKISUI)】を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレーションの種類	単位 桁数
クニメイト MG	31 キシリジルブルー法	15 積水メディカル	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	mg/dL 0.0
クオリザイント MG				

9. 尿素窒素

(1) 【アナセラム UN標準液】を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレーションの種類	単位 桁数
ピュアオートS UN-L	25 LED アンモニア回避法	15 積水メディカル	1 製造販売元指定のもの (溶媒ベース)	mg/dL 0.0
クオリザイント UN				
ピュアオートS UN-N	23 アンモニア消去法			
クオリザイント UN-N				

(2) 【セロノルム・ヒューマン】、【セロノルム・マルチキャリブレーション】、【血清マルチキャリブレーション(SEKISUI)】を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレーションの種類	単位 桁数
ピュアオートS UN-L	25 LED アンモニア回避法	15 積水メディカル	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	mg/dL 0.0
クオリザイント UN				
ピュアオートS UN-N	23 アンモニア消去法			
クオリザイント UN-N				

10. 尿酸

(1) 【アナセラム UA-E標準液】を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレーションの種類	単位 桁数
ピュアオートS UA	31 ウリカーゼ・ペルオキシダーゼ法	15 積水メディカル	1 製造販売元指定のもの (溶媒ベース)	mg/dL 0.0
オートセラS UA				
クオリザイント UA				

(2) 【セロノルム・ヒューマン】、【セロノルム・マルチキャリブレーション】、【血清マルチキャリブレーション(SEKISUI)】を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレーションの種類	単位 桁数
ピュアオートS UA	31 ウリカーゼ・ペルオキシダーゼ法	15 積水メディカル	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	mg/dL 0.0
オートセラS UA				
クオリザイント UA				

1 1. クレアチニン

(1) 【アナセラム CRE標準液】を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレーションの種類	単位 桁数
ピコアトモS CRE-N	21 酵素法	15 積水メディカル	1 製造販売元指定のもの (溶媒ベース)	mg/dL 0.00
ピコアトモS CRE-L				
クオリゼント CRE				

(2) 【セロノルム・マルチキャリブレーション】、【血清マルチキャリブレーション(SEKISUI)】を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレーションの種類	単位 桁数
ピコアトモS CRE-N	21 酵素法	15 積水メディカル	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	mg/dL 0.00
ピコアトモS CRE-L				
クオリゼント CRE				

1 2. 血清鉄

(1) 【セロノルム・マルチキャリブレーション】、【血清マルチキャリブレーション(SEKISUI)】を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレーションの種類	単位 桁数
ピコアトモS FE	21 直接比色法	15 積水メディカル	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	μg/dL 整数
クオリゼント FE				

13. AST / 14. ALT

JSCC標準化対応法の検量は、検量用ERM(酵素キャリブレータープラス)で行って下さい。

	測定法	利用している 単位	測定 温度	試薬キットの 製造販売元	検量法
ピロアトS AST-L	11 JSCC標準化対応法	1 標準化対応法 の国際単位	1 (37℃)	15 積水メディカル	1-1 企業の酵素キャリブレータを用いた 製造販売元指定
クオリジエント AST-L					
ピロアトS ALT-L					
クオリジエント ALT-L					

15. LD

(1) IFCC標準化対応法の検量は、検量用ERM(酵素キャリブレータープラス)で行って下さい。

	測定法	利用している 単位	測定 温度	試薬キットの 製販元	検量法
ピロアトS LD-IFCC	12 IFCC法	1 標準化対応法 の国際単位	1 (37℃)	15 積水メディカル	1-1 企業の酵素キャリブレータを用いた 製造販売元指定
クオリジエント LD-IFCC					

(2) JSCC標準化対応法の検量は、検量用ERM(酵素キャリブレータープラス)で行って下さい。

	測定法	利用している 単位	測定 温度	試薬キットの 製販元	検量法
ピロアトS LD	11 JSCC法	1 標準化対応法 の国際単位	1 (37℃)	15 積水メディカル	1-1 企業の酵素キャリブレータを用いた 製造販売元指定
クオリジエント LD					

16. アルカリ性ホスファターゼ(ALP)

(1) IFCC標準化対応法の検量は、検量用ERM(酵素キャリブレータープラス)で行って下さい。

	測定法	利用している 単位	測定 温度	試薬キットの 製販元	緩衝液
ピロアトS ALP-IFCC	12 IFCC法	1 標準化対応法 の国際単位	1 (37℃)	15 積水メディカル	3 2-アミノ-2-メチル-1-プロパノール (AMP)
クオリジエント ALP-IFCC					
	検量法				
ピロアトS ALP-IFCC	1-1 企業の酵素キャリブレータを用いた 製造販売元指定				
クオリジエント ALP-IFCC					

(2) JSCC標準化対応法の検量は、検量用ERM(酵素キャリブレータープラス)で行って下さい。

	測定法	利用している 単位	測定 温度	試薬キットの 製販元	緩衝液
ピロアトS ALP	11 JSCC法	1 標準化対応法 の国際単位	1 (37℃)	15 積水メディカル	1 2-エチルアミノエタノール (EAE)
オートセラス ALP					
PTS用オートセラス ALP					
クオリジエント ALP					
	検量法				
ピロアトS ALP	1-1 企業の酵素キャリブレータを用いた 製造販売元指定				
オートセラス ALP					
PTS用オートセラス ALP					
クオリジエント ALP					

17. γ -GT

JSCC標準化対応法の検量は、検量用ERM(酵素キャリブレータープラス)で行って下さい。

	測定法	利用している 単位	測定 温度	試薬キットの 製販元	検量法
ピロアトS γ -GT	11 JSCC標準化対応法	1 標準化対応法 の国際単位	1 (37℃)	15 积水メディカル	1-1 企業の酵素キャリブレータを用いた 製造販売元指定
クオリジエント γ -GT					
クオリジエント GGT					

18. CK

JSCC標準化対応法の検量は、検量用ERM(酵素キャリブレータープラス)で行って下さい。

	測定法	利用している 単位	測定 温度	試薬キットの 製販元	検量法
ピロアトS CK-L	11 JSCC(IFCC) 標準化対応法	1 標準化対応法 の国際単位	1 (37℃)	15 积水メディカル	1-1 企業の酵素キャリブレータを用いた 製造販売元指定
クオリジエント CK-L				11 シノテスト	
シグナスオト CK					

19. アミラーゼ

◇ 検量用ERMによる検量の場合(JSCC標準化対応法)

JSCC標準化対応法の検量は、検量用ERM(酵素キャリブレータープラス)で行って下さい。

	測定法	測定法 基質の分類	利用している 単位	測定 温度	試薬キットの 製販元
ピロアトS AMY-G2	112 JSCC標準化対応法	740 Gal-G-2CNP	1 標準化対応法 の国際単位	1 (37℃)	15 积水メディカル
クオリジエント AMY-G2					
ピロアトS AMY-G7		532 4,6Iリヂェン-G-7			
クオリジエント AMY-G7					
	検量法				
ピロアトS AMY-G2	1-1 企業の酵素キャリブレータを用いた 製造販売元指定				
クオリジエント AMY-G2					
ピロアトS AMY-G7					
クオリジエント AMY-G7					

20. コリンエステラーゼ

◇ 検量用ERMによる検量の場合(JSCC標準化対応法)

JSCC標準化対応法の検量は、検量用ERM(酵素キャリブレータープラス)で行って下さい。

	測定法	測定法 基質の分類	利用している 単位	測定 温度	試薬キットの 製販元
ピロアトS CHE	11 JSCC標準化対応法	32 p-ヒドキシベンゾイルコリンを 基質とする方法	1 標準化対応法 の国際単位	1 (37℃)	15 积水メディカル
クオリジエント CHE					11 シノテスト
クイックオト 材 Ch-E					
	検量法				
ピロアトS CHE	1-1 企業の酵素キャリブレータを用いた 製造販売元指定				
クオリジエント CHE					
クイックオト 材 Ch-E					

2 1. 総コレステロール

	測定法	試薬キットの 製販元	キャリブレーションの種類	単位 桁数
ピュアオートS CHO-N	11 コレステロール酸化酵素法	15 積水メディカル	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	mg/dL 整数
コレステスト CHO				
クオリジエント CHO				

2 2. 中性脂肪

	測定法	試薬キットの 製販元	キャリブレーションの種類	単位 桁数
ピュアオートS TG-N	21 酵素比色法 グリセロールを消去する方法	15 積水メディカル	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	mg/dL 整数
オートセラス TG-N				
コレステスト TG				
クオリジエント TG				
コレステストN TG	22 酵素比色法 グリセロールを消去しない方法(直接法)			

2 3. HDL コレステロール

	測定法	キャリブレーションの種類	単位 桁数
コレステストN HDL	01-1201 沈殿操作を行わない方法：積水メディカル (コレステストN HDL、クオリジエント HDL)	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	mg/dL 整数
クオリジエント HDL			

2 4. LDL コレステロール

	試薬キット名	キャリブレーションの種類	単位 桁数
コレステスト LDL	01-1201 積水メディカル (コレステスト LDL、クオリジエント LDL)	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	mg/dL 整数
クオリジエント LDL			

25. HbA1c

ルディア

分析装置の製造販売元名・試薬キットの製造販売元名		キャリブレーションおよび 検量方法の種類	単位 桁数
キット名称			
(RE)ルディアN HbA1c	03-1201 酵素法 積水メディカル (ルディアN HbA1c、HbA1cオト「TBA」)	1 製造販売元指定の標準液 表示値をそのまま使用	% 0.0
ルディアN HbA1c			
Lタイプ° ルディアN HbA1c	03-1202 酵素法 積水メディカル (Lタイプ° ルディアN HbA1c)		

測定結果はNGSP値を記載して下さい

測定用前処理試料の作製

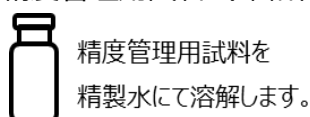
精度管理用試料（凍結乾燥品）を測定するには下記の手順で試料の調整を行ってください

<準備物>

1. 精度管理用試料（凍結乾燥品）
2. 精度管理用試料専用希釈液（専用希釈液）・・・弊社DMRにお申し付けください
3. 「ルディアN HbA1c用HbA1c前処理液」又は「Lタイプ° HbA1c前処理液」

<調整方法>

- (1) 精度管理用試料（凍結乾燥品）を指定された手順で溶解します



- (2) 溶解した精度管理用試料0.1mLに専用希釈液0.1mLを添加混合します



・(RE) ルディアN HbA1c、ルディアN HbA1cをご使用の場合

日立、キヤノン、日本電子、ベックマン（ほか）

- (3) (2) で混合したHbA1c混合試料0.1mLに「ルディアN HbA1c用HbA1c前処理液」0.6mLを加えて攪拌しHbA1c前処理試料とします。



- ・EV800、日立7180オプション機能付ではコントロールポジション又は項目選択画面にて検体種別“その他”で依頼し測定します
- ・TBA-120FR系、AccuteRX 400FR自動前処理機能付では患者依頼画面にて“再検1”又は“再検2”で依頼し測定します
- ・TBA-nx360ではオーダー画面にて項目選択しアッセイオプションにて希釈タイプ“HemB”で依頼し測定します
- ・ビオリス 30iではコントロールポジション又は検体受付画面にて検体種別“HbA1c(溶血)”で依頼し測定します

日本電子BM シリーズで自動前処理を行う装置

- (3) (2) で混合したHbA1c混合試料0.1mLに「ルディアN HbA1c用HbA1c前処理液」0.4mLを加えて攪拌しHbA1c前処理試料とします。



- ・日本電子BMシリーズ自動前処理機能付きではコントロールポジション又は溶血済みポジションで測定します

・Lタイプ° ルディアN HbA1cをご使用の場合

ラボスペクト 006/003/008/008a

- (3) (2) で混合したHbA1c混合試料0.1mLに「Lタイプ° HbA1c前処理液」0.4mLを加えて攪拌しHbA1c前処理試料とします。



- ・ラボスペクト006自動前処理機能付ではコントロールポジション又は項目選択画面にて検体種別“その他”で依頼し測定します

25. HbA1c

【 グリコヘモグロビン分析装置 RC20 】

◎測定装置コード表 より

G. 専用臨床化学分析装置

B) HbA1c測定装置

コード	企業名	測定装置名
GBR201	積水メディカル	RC20

分析装置の製造販売元名・試薬キットの製造販売元名 キット名称	キャリブレーションおよび検量方法の種類	単位 桁数
RC20	01-1201 HPLC法 (積水メディカル)	1 製造販売元指定の標準液 表示値をそのまま使用
		% 0.0

測定結果はNGSP値を記載して下さい。

・グリコヘモグロビン分析装置RC20ではヘモグロビン濃度 **約1.5g/L** の時に最適な測定値が得られます。

HPLC法 試料9, 10の取り扱いに関する補足事項

サーベイ試料が凍結乾燥品で、規定量の精製水で溶解したときの総ヘモグロビン濃度が約10g/dLの場合は下記の通りです。その他の場合は、弊社までお問い合わせ下さい。

試料を**精製水0.14mL**で溶解し、専用の検体採取デバイスで吸引します。検体採取デバイスを装置にセットし、日常検体と同様に測定を行ってください。

注) 試料を溶解した後は速やかに測定してください。

直ぐに測定できない場合は冷蔵庫で保管し、1時間以内に測定してください。

任意補正值を設定されている場合は、a : 1.000、b : 0.000に戻してから測定してください。

26. インスリン

試薬キット名 () 内は製造販売元		単位 桁数	検量点
ルディア インスリン (積水メディカル)	05-1206 LIA [ラテックス免疫測定]	μU/mL 0.0	6 点

33. PSA

試薬キット名 () 内は製造販売元		単位 桁数	検量点
ナビア PSA (積水メディカル)	05-1201 LIA [ラテックス免疫測定]	ng/mL 0.0	6 点

37. TP抗体

試薬キット名 () 内は製造販売元		利用している 単位	桁数	貴施設の 陽性下限値
メイエース TPLA (積水メディカル)	05-1204 LIA [ラテックス免疫測定]	3 T.U.	0.00	10.00 T.U.
メイエース TPLA(N) (積水メディカル)	05-1205 LIA [ラテックス免疫測定]			

陽性：10.0 T.U.以上

38. CRP

測定値はERM-470、DA472/IFCCまたはDA474/IFCC(IRMM)を伝達した値により評価します。

	測定法	試薬キットの 製販元	単位 桁数	CRP標準品 (起源)
ナビア CRP	21 ラテックス比濁法	15 積水メディカル	mg/dL 0.00	12
クオリゼント CRP				ERM-DA470,DA472/IFCC またはDA474/IFCC(IRMM)

39. リウマトイド因子

試薬キット名 () 内は製造販売元		単位 桁数
N-アッセイ LA RF-K ニットホー (ニットホーメディカル)	05-2602 LIA(ラテックス免疫測定法)	IU/mL 0.0
ランビア ラテックス RF III (N) (極東製薬)	05-0503 LIA(ラテックス免疫測定法)	IU/mL 0.0

カットオフ値 15.0 IU/mL以下(参考)

48. プロトロンビン時間(PT)

◇ 試薬キット名 ※ () 内は製造販売元

試薬名	コアグピスタ PT-N (積水メディカル)	01-1201
	コアグピスタ PT-Liquid (積水メディカル)	01-1202
	トロンボチェックPT (シスメックス)	01-0601
	トロンボチェックPTプラス (シスメックス)	01-0602

◇ 測定装置コード

測定装置名	コアプレスタ2000	積水メディカル	KAR201
	CP3000	積水メディカル	KAR202

◇ 標準血漿コード

標準血漿	コアグピスタ用キャリブレーター-N (積水メディカル)	0061
	コアグトロールN (シスメックス)	0010
	AKキャリブラント(INR表示血漿) (シスメックス)	0014

◇ 管理血漿コード

正常域管理血漿	コアグピスタ用コントロールP-N I (積水メディカル)	1061
	コアグトロール I X (シスメックス)	1012
異常域管理血漿	コアグピスタ用コントロールP-N II (積水メディカル)	5061
	コアグトロール II X (シスメックス)	5014

測定・演算事項

ISI値	試薬キット記載値 or ローカル SI	小数点以下第2位まで報告 0.00
測定値	試料22、試料23の測定値	小数点以下第1位まで報告 0.0 (秒)
プロトロンビン比	(試料23の秒数) / (試料22の秒数)	小数点以下第2位まで報告 0.00
INR※	(プロトロンビン比) ^{ISI}	小数点以下第2位まで報告 0.00

※INR値の算出：プロトロンビン比のISI乗(べき乗算)により算出します。

ISI	製造販売元指定(試薬キット添付書類記載)の値を使用	1
	自施設で設定したLocal ISI値を使用	2
	検量線によって自動的に算出されるINRからISI値を逆算	3
	その他	9

◇ ISI値の記載について

・コアグピスタ2000

試薬名	値を使用する場合	Local ISI値を使用する場合
コアグピスタPT-N	キット 外箱 の コアグピスタ2000 の値を適用	[精度管理/キャリブ]から[項目選択]→[PT INR]の項目を選択し「ISI ₀ -加値」の数字を記入して下さい
トロンボチェックPT	キット添書の コアグピスタ800 の値を適用	
トロンボチェックPTプラス	キット添書の コアグピスタ800 の値を適用	
コアグピスタPT-Liquid	バイアル記載の値を適用	適応なし

・CP3000

試薬名	値を使用する場合	Local ISI値を使用する場合
コアグピスタPT-N	キット 外箱 の CP3000 の値を適用	[キャリブ]→左下項目欄から「PT」を選択[INR検量線]→[ISI ₀ -加値]の数字を記入して下さい
トロンボチェックPT	キット添書の コアグピスタ800 の値を適用	
トロンボチェックPTプラス	キット添書の コアグピスタ800 の値を適用	
コアグピスタPT-Liquid	バイアル記載の値を適用	適応なし

49. 活性化部分トロンボプラスチン時間(APTT)

◇ 試薬キット名 ※ () 内は製造販売元

試薬名	コアグピア APTT-N (積水メディカル)	01-1201
	トロンボチェック APTT (シスメックス)	01-0601
	トロンボチェック APTT(S) (シスメックス)	01-0602

◇ 測定装置コード

測定装置名	コアプスタ2000	積水メディカル	KAR201
	CP3000	積水メディカル	KAR202

◇ 標準血漿コード 活性%で報告している場合

標準血漿	コアグピア用キャリブレーター N (積水メディカル)	0061
	コアグトロール N (シスメックス)	0010

◇ 管理血漿コード

正常域管理血漿	コアグピア用コントロールP-N I (積水メディカル)	1061
	コアグトロール I X (シスメックス)	1012
異常域管理血漿	コアグピア用コントロールP-N II (積水メディカル)	5061
	コアグトロール II X (シスメックス)	5014

測定事項

測定値	試料22、試料23の測定値	小数点以下第1位まで報告 00.0 (秒) ※小数点以下第2位を四捨五入
-----	---------------	--

※参考調査

APTTクロスミキシングテスト実施調査

・実施していない	10
・次の方法で実施	
混和直後の即時反応のみ測定	21
混和2時間反応後の遅延反応のみ測定 ...	22
即時反応と遅延反応の両方を測定	23

50. フィブリノゲン

◇ 試薬キット名 ※ () 内は製造販売元

試薬名	コアグピア Fbg (積水メディカル)	01-1201
	トロンボチェック Fib(L) (シスメックス)	01-0602

◇ 測定装置コード

測定装置名	コアプスタ2000	積水メディカル	KAR201
	CP3000	積水メディカル	KAR202

◇ 標準血漿コード

標準血漿	コアグピア用キャリブレーター N (積水メディカル)	0061
	コアグトロール N (シスメックス)	0010

◇ 管理血漿コード

正常域管理血漿	コアグピア用コントロールP-N I (積水メディカル)	1061
	コアグトロール I X (シスメックス)	1012
異常域管理血漿	コアグピア用コントロールP-N II (積水メディカル)	5061
	コアグトロール II X (シスメックス)	5014

測定事項

測定値	試料22、試料23の測定値	整数値で報告 0 (mg/dL) ※小数点以下を四捨五入
-----	---------------	------------------------------------